

“答えられない”“答える立場ではない”と???

——下総基地の監理幕僚——

毎年催されているピースサイクルの一環として、今年も下総基地に事前に「申し入れ」を送りアポを取って訪問(2020年7月17日15:20)。下総教育航空群司令部監理幕僚が対応してくれました。

しかし、なぜか例年と違って今年の監理幕僚は8つの申し入れ項目について、住民からの要望についても、質問にも何も答えてくれません。「立場で答えられません」「回答する立場ではない」「お答えできる立場ではない」と紋切り型の対応。

最後にやっと「今日のことは上司に報告する」との確約は取り付けたが…

これでは周辺住民との意思疎通を図り認識の共有化を図っていかうとする姿勢が下総基地にはないこととなります。P2JからP3Cが変わるとき、かさ上げ工事をするときはあるだけ住民に説明していたのに…時代が変わったのか? 国民主権の社会から国家主義の国に変わってしまっているのか? 自衛隊も日本国憲法の規定を受けるはずだが…



「NLPは絶対反対」「航空騒音への住民の苦情等」は鎌ヶ谷市議会で議論されているが「オスプレイ関係の問題」「泡消化剤の問題」「騒音について地元自治体との協定」については聞きたいことがいっぱいです。

下総基地では答えがなかったので鎌ヶ谷市清水市長へこれらの点について質問・申し入れをしました(7/27)。回答が9/3清水市長からきました。

その回答内容は、

○オスプレイについては下総基地の基地指令が「海上自衛隊の基地である下総基地として現時点ではオスプレイを運用する予定はない」と言っているというだけ。

オスプレイと一緒に活動することになっている習志野第一空挺団との関係については何も答えられない。入間一下総一習志野と海自・陸自関係なく使用しているのに…

○下総基地に飛来している木更津第一ヘリコプター団のヘリ CH-47 の飛来目的は「把握していない」(下総基地からの回答)と言うだけ。オスプレイは木更津ヘリと同じ訓練をするのです。

○有機フッ素化合物 PFOS を含む泡消化剤は下総基地に2020年3/31時点で5140リットルあり、2021年度末までに産業廃棄物処理業者と契約し処理委託する予定とのこと。PFOSが第一種特定化合物に指定された平成22年4月以降PFOS泡消化剤の使用実績はないとの事。

○航空機騒音について下総基地と協定を結ぶ件については「下総基地としては協定で約束することは考えていない」との事。鎌ヶ谷市としては市民の声を下総基地に伝えていくだけで行政として協定を結ぼうと努力しないようです。

基地の対応の悪さは戦争遂行体制構築に突っ走っている政府があるからか?

鎌ヶ谷市は基地の騒音問題、PFOSの問題、オスプレイの問題に対して主体的に取り組もうとはしていません。ただ「下総基地が…とっています」というだけ。困ったものです。11万鎌ヶ谷市民の生活環境を守るのも行政の役目なのに。

「民主主義と自治そして平和主義」ふじしろ政夫 047-445-9144

*活動報告 HP に掲載「いい鎌ヶ谷ふじしろ政夫」でアクセスできます。